

全国の男女 1,000 名に対し、著名な起業社長に関する意識調査を実施

国内企業の社長 イメージが良いのは誰？ 好感度の高さ 第1位はソフトバンクの孫正義社長

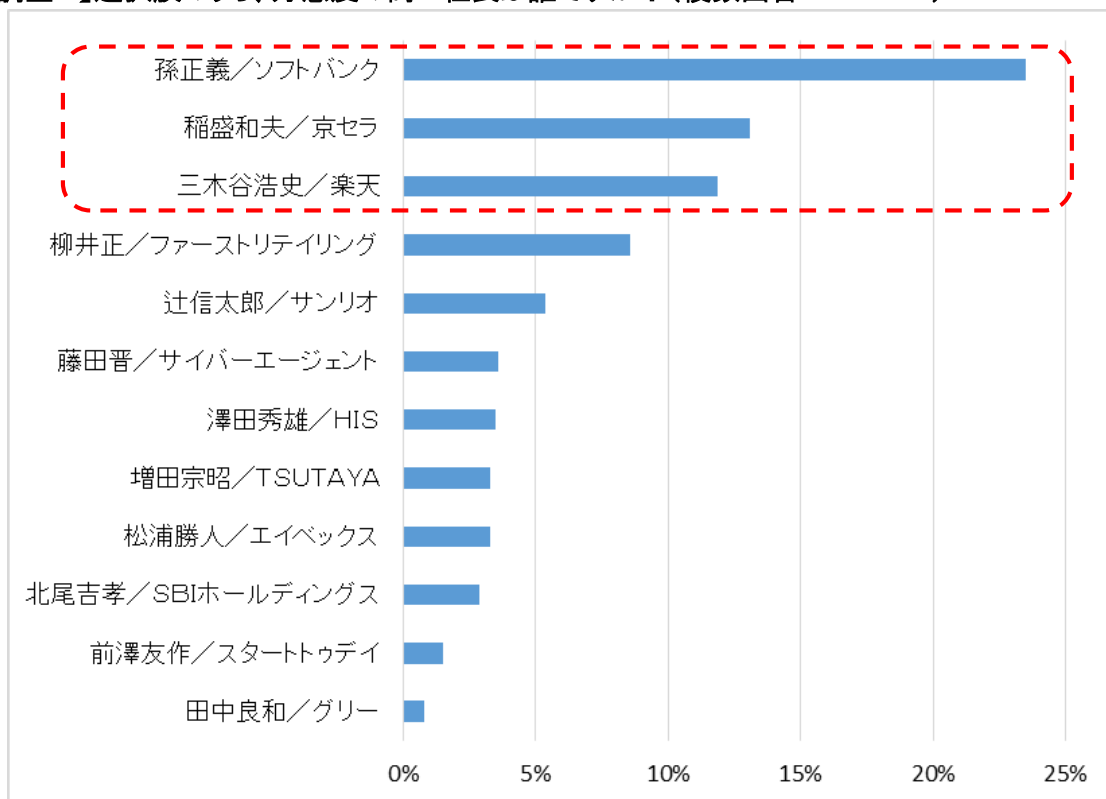
コミュニケーションデザイン総合研究所は、全国の20歳～49歳の男女1,000名に対し、「起業社長に関する意識調査」を実施しました。調査結果から“好感度の高い社長”や“(該当の社長に)好感を持った理由”が明らかになりました。

【調査結果サマリー】

※調査内の各社長につきましては敬称略しています。

1. 好感度が高い社長 第1位「孫正義(ソフトバンク)」、第2位「稲盛和夫(京セラ)」、第3位「三木谷浩史(楽天)」
2. (該当の社長に)好感を持った理由は「企業の業績を大きく伸ばしているから」が最多

■【調査1】選択肢のうち、好感度の高い社長は誰ですか？(複数回答 / n=1000)

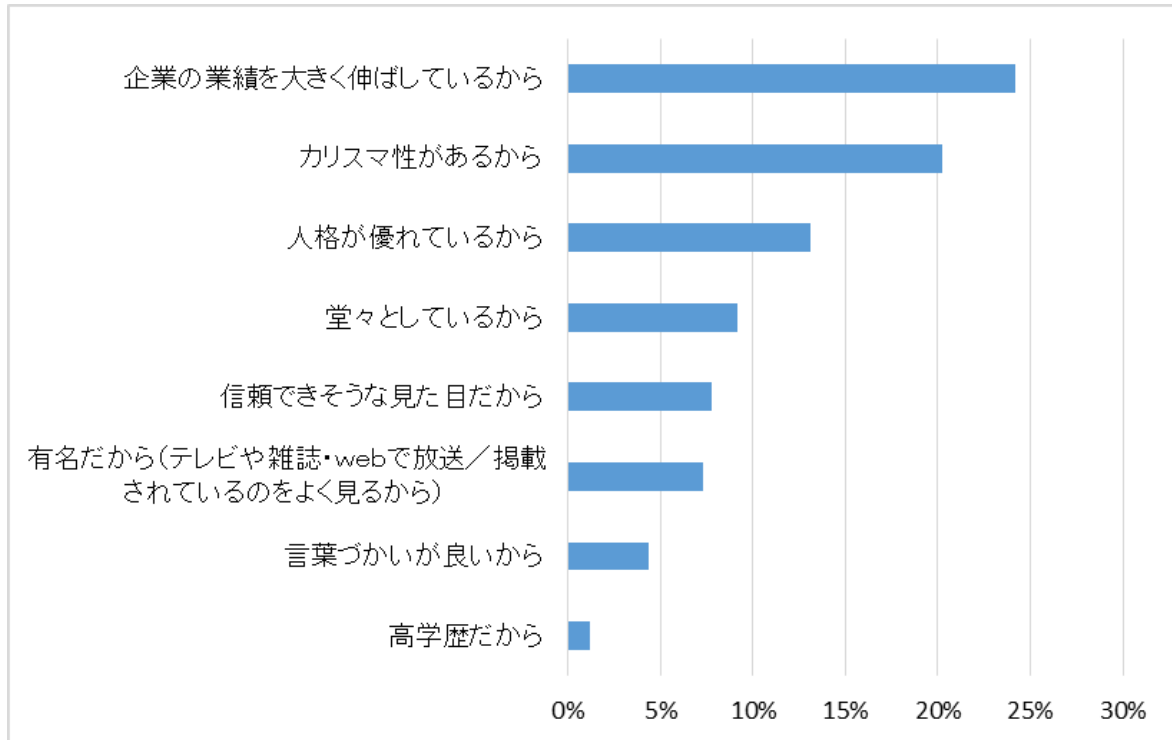


「好感度の高い社長は誰ですか？」という質問に対して、最多得票を獲得したのはソフトバンクグループ株式会社の孫正義社長(23.5%)という結果でした。孫社長に次いで高得票だったのは京セラ創業者の稲盛和夫(現KDDI)最高顧問(13.1%)で第2位、楽天株式会社の三木谷浩史社長(11.9%)は第3位という順位になっています。

【この調査に関するお問い合わせや取材をご希望の方は下記までご連絡ください】

株式会社コミュニケーションデザイン総合研究所
広報担当デスク 担当:品田・牛尾 shinada@cd-j.net
TEL:03-5545-1661/FAX:03-5545-1662

■【調査2】好感度が高い、と回答いただいた社長に好感を持った理由は次の(選択肢の)うちどれですか？
(複数回答 / n=1000)



「好感度が高い、と回答いただいた社長に好感を持った理由は選択肢のうちどれですか？」という質問に回答してもらったところ、『企業の業績を大きく伸ばしているから』(24.2%)という理由が第1位でした。次いで第2位が『カリスマ性があるから』(20.2%)、第3位が『人格が優れているから』(13.1%)という結果になりました。

<調査概要>

調査内容：起業社長に関するイメージ調査
調査方法：インターネット調査
調査期間：2015年6月7日
調査対象：20～40代の全国の男女
調査サンプル数：1000名

<調査主体：コミュニケーションデザイン総合研究所> <http://www.cd-s.info>

株式会社コミュニケーションデザイン(東京都港区、代表取締役社長：玉木剛)内に設置。

ユニークな視点に立った独自の調査・研究を行い、その結果を公開することにより、世の中に「気付き」や「新しい価値基準」を提供。企業活動や消費者がより豊かな生活をおくる事に寄与することを目的としている。

※報道目的のデータの利用は自由ですが、必ず「コミュニケーションデザイン総合研究所調べ」などと明記してください。またその際は下記お問い合わせ先までご一報いただけますと幸いです。

【この調査に関するお問い合わせや取材をご希望の方は下記までご連絡ください】

株式会社コミュニケーションデザイン総合研究所
広報担当デスク 担当：品田・牛尾 shinada@cd-j.net
TEL:03-5545-1661/FAX:03-5545-1662